



2023.7.5(水) 14:30kickoff ヨドコウ桜スタジアム

阪南大学		3	0	前半	1	2	立命館大学		
			3	後半	1				
68分	9 三好 麟大(10 金本 毅騎)			得点(アシスト)			6分	28 中野 瑠馬(15 荻野 元伸)	
73分	10 金本 毅騎(15 森村 俊太)						88分	OG	
75分	10 金本 毅騎								

準々決勝からハードな日程が続く中、タフさが求められる準決勝。阪南大対立命大の一戦は、いきなり試合が動く。6分、立命大はDF15、荻野のロングフィードに抜け出したMF28、中野が完璧なファーストタッチから右足で沈めた。その後は、立命大は後ろからのビルドアップ、阪南大は前線からの守備でチャンスをうかがう展開となった。12分、MF15、森村が2度GKとの1対1を迎えるも、GK1、永田に阻まれる。前半は立命大がやや優勢に試合を進め、1点リードで後半を迎える。阪南大はHTで一気に3枚代えに出ると、この策が功を奏す。68分、交代出場のFW10、金本がPA内で切り返して左足でクロス、同じく交代出場のMF9、三好が右足で合わせて同点に追いついた。続く73分にも、ハーフウェーライン付近から森村がドリブルで2人を振り切り左足でクロスを上げると、金本が滑り込みながらゴールに押し込んで逆転に成功。さらに75分、阪南大はDF40、川端がボール奪取し、金本が右足でフィニッシュ。リードを2点に広げ、試合の流れを大きく変えた。その後、オウンゴールで1点差となるも3-2で試合終了。阪南大は5大会ぶり6回目の優勝まで残り1つ。伝統の「仕掛けて崩す」サッカーで関西制覇を目指す。



Reported by 木村太一



2023.7.5(水) 17:00kickoff ヨドコウ桜スタジアム

関西学院大学	1	1	前半	0	0	関西大学
		0	後半	0		
26分	9 渡邊 颯太	得点(アシスト)				

前期リーグの関関戦にて激戦を繰り広げた関学大と関西大による準決勝は、雨降り頻る中、ヨドコウ桜スタジアムで行われた。試合が動いたのは、26分。ゴールキックに対してプレスを緩めなかった関学大にゴールが生まれる。相手GKが近くの味方選手にパス。リターンをもらうもコントロールが乱れ、その隙を逃さなかったMF25,佐伯がGKにプレスをかける。溢れたボールをFW9,渡邊がきっちり決め、関学大が先制する。負けられない関西大は43分、PA前右で獲得した直接FKをFW9,西村が低い弾道でPA内中央に蹴り込み、FW17,百田に合わせようとするも上手く合わず、ボールはそのままゴールへと向かうが相手GKのセーブに阻まれる。スコア動かず前半終了。関学大がシュート11本の猛攻を見せた。後半、突き放したい関学大と追いつきたい関西大が互いにゴールを目指す状態が続く。互いにシュート5本ずつ記録するも、得点には至らずスコアレス。前半の1点を守り切った関学大が2017年以来、5大会ぶりの決勝に駒を進めた。試合後、渡邊は「難しい試合になることは分かっていたましたが、関関戦ということで必ず勝って決勝に進むという強い気持ちをみんなが持って試合に臨みました。自分たちが掲げている目標やvision達成のために、全員が一丸となって闘い、関西を獲りにいきます。」と振り返った。



Reported by 片岡颯真